

1月～3月の活動予定

1月の動き

- 7：第9回 HS さやま調整員会議 **中止**
- 9：第10回事務局会議・第8回運営委員会合同会議
(10:00～web 会議)
- 14：学童保育室長会議 (9:00～奥富学童保育室)
- 18：第8回子育てプレイス奥富打合せ (16:30～)
- 28：HS さやま運営委員会 (13:30～元気プラザ)

2月の動き

- 1：第9回子育てプレイス奥富打合せ (16:30～)
- 4：第10回 HS さやま調整員会議
(13:30～元気プラザ)
- 6：第11回事務局会議 (9:30～web 会議)
第9回運営委員会 (10:45～web 会議)
- 11：法人スタッフ全体研修会 (10:00～) **中止**

法人スタッフ全体研修会(10:00～12:00)

「みんなの学習会」

さやま市民交流センターコミュニティホールで実施を予定していた対面式の学習会は、開催困難となりました。
各職場にリモート機能が整備されましたので、職場毎に集まって会の運営やあり方について、それぞれ「提案を出し合う」討論会を試みてはいかがでしょうか？

- 18：学童保育室長会議 9:00～奥富学童保育室)
HS さやま支援員スキルアップ研修会 **中止**
(10:00～元気プラザ大会議室)

3月の動き

- 1：第12回事務局会議 (9:30～会場・方法未定)
第10回運営委員会 (10:45～会場・方法未定)
第10回子育てプレイス奥富打合せ
(16:30～)
- 4：第11回 HS さやま調整員会議
(13:30～元気プラザ)
- 11：学童保育室長会議 (9:00～奥富学童保育室)
- 13：第3回理事会 (14:00～会場・方法未定)
各学童保育室入室説明会
- 26：よつばのおうちお別れ会
4学童保育室合同お別れ遠足

ホームスタートさやま

訪問支援員スキルアップ研修会 **中止**

日時：2月18日(木) 10:00～12:00
テーマ：「コロナ禍中の家庭訪問支援の必要性」
講師：埼玉県立大学 市村彰英氏
場所：元気プラザ大会議室
対象者：HS さやま訪問支援員

事務局たより

コロナ禍はさまざまな影響を生み自粛生活を強い、暮らし方の変化、働き方の多様化を進めました。緊急事態解除後の経済優先の政策により、新型コロナウイルスの「第3波」感染拡大を引き起こしています。医療関係者からは危機的状況が刻々と報告され、1都3県の「緊急事態宣言」下ですでに医療崩壊が指摘される事態に陥っています。
ソーシャルディスタンスを心がけ、手指の消毒やマスク着用等重点を置く生活は、引き続き励行することが求められています。
当会の各事業所は、小さな子どもから学童期の子どもまでを対象にしていますので、スタッフ一同、大変な労力を費やして毎日の遊びや過ごし方に工夫をこらし、心くばりをしています。事務局一同、スタッフのみなさまに感謝の気持ちでいっぱいです。
これから本格的な寒さがやってきます。理事、スタッフの皆さまには、健やかに過ごされるようお祈りいたします。

スタッフになりたい方はいらっしゃいませんか？

福祉の世界も保育の世界も介護の世界も人手不足。家族の人員が減り、家庭の機能が弱くなるほどに、社会的なサポートが必要になってきているのですが、そのサポートの手が足りなくなっています。乳幼児に関心のある方・学童に関心のある方・親子の触れ合いに関心のある方、いらっしゃいませんか。よつばのおうち・4学童保育室・子育てプレイス奥富・訪問型事業等の場で、皆さま方のお力を必要としています。見学も随時OKです。

TEL&FAX：04-2957-0451 MAIL：yotuba-2006@qi9.so-net.ne.jp へご連絡ください。お待ちしております。

★下記の表は2020(令和2)年度の各部署のスタッフ構成です。事務局会議・運営委員会を第1土曜日に、学童保育室長会議を第2木曜日(事務局出席)に行い、運営がスムーズにいくよう努力しています。

NPO 法人会員の状況：正会員 27 名
準会 20 名、賛助会員 22 名。
会員の方々の支えが会の基盤です。
新しい会員さんを募集しています！
よろしく願いいたします。

事務局：8名
粕谷文勝・忍成俊一
諸澤富久枝・石森幸雄
佐藤洋子・宮本雄司・
大賀明子・諏訪きぬ

運営委員会：11名
宮崎雅代(よつばのおうち)
斎藤裕美(学童保育)・西本
桜子(プレイス)・山根静
子(訪問事業)・事務局(7名)

学童保育室長会：4名
柴田浩代・玉田京子
斎藤裕美・石居福子
食育係：4名
蜂谷千枝子・河野順子
西 孝子・伊藤清乃

NPO法人さやま保育サポートの会だより

第71号
2021・1・10 発行

NPO法人さやま保育サポートの会事務局：〒350-1304 埼玉県狭山市狭山台 3-8-12 よつばのおうち内
TEL&FAX：04-2957-0451 MAIL：yotuba-2006@qi9.so-net.ne.jp
http://sayama-portal.jp/sayama_hoiku_support/

明けましておめでとうございます

代表理事 大賀明子



2021年、令和3年の新年のご挨拶を申し上げます。
2020年はCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)に振り回されてしまった年になりました。
みなさまお一人おひとりが、今日もご健康でおられることを願っております。
新しい年早々に、2度目の『緊急事態宣言』が出されることになってしまいました。すでにお気づきのことかもしれませんが、残念ながらこの先、新型コロナウイルスが消えてなくなることはないでしょう。COVID-19はインフルエンザのように、私たちの生活の中に当然のごとく存在することになるのだと思います。その中で、感染せずに日常生活を送るために、これまでの制限された生活の中で得た知恵とその成果に自信をもって良いのではないのでしょうか？

学校が休校となっても、仕事がリモートになっても、子育ては休めません。感染を防ぐできる限りの努力を重ねながら、よつばのおうちや学童保育室は日常の保育を守りぬいてまいりました。活動の見合わせを強いられた、奥富プレイスとホームスタートは、利用者の方々の生活を心配しつつも思いを寄せることをやめないで、わずかにやって来たチャンスをとらえて、「今できること」に取り組んでまいりました。そして、このたびの2度目の『緊急事態宣言』下では、感染を防ぐための対策を必要としながら、保育や学童保育、在宅での子育て支援を止めないことが求められています。

COVID-19は、確かに私たちの生活を変化させました。いろいろな方法も変わりました。けれど子ども達の毎日は、その変化をしなやかに吸収して、案外同じことを繰り返す事が日常になっているのではないのでしょうか？

私たち大人達は、その同じことを繰り返す日々を送れることを保障していく、その価値を信じて良いように思います。同じ毎日が送れるということは、結構「すごいこと」なのではないのでしょうか。そしてそのすごいことができるよう毎日心を砕いて日々を重ねてくださる保護者のみなさまに、あらためての感謝をお伝えしたいと思います。
今年も日常を守り切れるよう、力を合わせていきましょう！どうぞよろしくお願いいたします。

ホームスタートさやま

第5回家庭訪問支援員養成講座

10月15日～12月24日 (全11回) 終了

養成講座を対面式で開設するには勇気が必要でした。ハラハラドキドキを重ねてきましたが、修了式には5人の受講生の方々が屈託のない明るい表情で出て下さいました。
1都3県は「緊急事態宣言」下に置かれ、家庭に訪問して支援を展開することはしばらくお預けです。全講座を無欠席で通した受講生の方々の活躍の場が早く訪れますように！



修了式も蜜は禁物。ソーシャルディスタンスを守って！

よつばのおうち

「こんな状況だから誰かの役に立ちたいんです…」と寄付を申し出てくれた方、「子どもたちとみかんをとりに来ませんか？」と声をかけてくださったご近所の方、よつばのおうちの前を通り、元気に遊ぶ子どもたちの姿を見て、季節の果物の差し入れや、絵本をプレゼントしてくれる方がいます。散歩先で、声をかけていただくことも多く、その優しさに子どもたちは育てられているのだと思います。自分の周りの大人との関わりが家族だけでなく、もっともっと広がることで豊かな心が育つといいなあ…としみじみ感じています。コロナ禍で制限や自粛の多い毎日ですが、コロナだから見えてきたことも多く、変化を受け入れることもマイナスばかりではないのでは？

見えないウィルスとの闘いはまだまだ続きそうです。進級、卒園に向けて子どもたちの成長を見守りながら過ごしていきたいです。



保育サポート研究所

新体制になってからの保育サポート研究所は、実は休眠状態です。あれをした、これをやったというご報告はできないのですが、NPO法人の中に『保育サポート研究所』を有することの意味をしっかりと考えていきたいと思案中です。ジャンプする前には、少しかがむことが必要です。そのかがんでいるつもりではありますが、どっちの方向に、どんなジャンプをすることが必要なのか？果たしてジャンプが必要なのか？いろいろな方からのご意見なども伺いたいと考えています。

保育だけでなく、ホームスタート（家庭訪問型支援）や学童保育についても、研究成果が見られるようになってきました。

本NPOの理念を見失うことなく、すべきことが見えてくるまで、今しばらくお待ちください。



子育てプレイス奥富

明けまして おめでとうございます

新しい年 2021年「丑年」のスタートです！

自粛生活が続いていますが、1日も早く落ち着いた生活を取り戻せるよう お祈り致します。ご家族皆様のご健康を心より願っています。

さて、子育てプレイス奥富は 新年1月4日より引き続き制限を設けて 開所致しました。

利用者さんみなさんに寄り添いながら居心地のよい場所であるよう、環境作りを大切にして、スタッフ一同みなさまのお越しをお待ちしています。



本年もどうぞよろしく
お願いいたします。

スタッフ手作りの羽根
つきで遊びました。

ホームスタートさやま

家庭訪問はコロナ禍のため思うように進みません。利用者さんも中々日程調整が付かない状態です。

☆☆家庭訪問ボランティア養成講座が無事終了致しました。今年はコロナ禍で始めましたので途中で中断することも考えながらの講座でした。5名の受講生で誰一人休むことなく終了出来たことは受講生の皆さんの熱意と講師や関係機関の方々、家庭訪問ボランティアや保育担当者の協力の下に、一丸に取り組めたことが成功の要因でした。皆様に感謝いたします。

めでたく、新たに**5名+1名(第4回講座の受講生)**の家庭訪問ボランティアが誕生しました。

☆☆HS J主催オーガナイザー養成講座に派遣
残念ながらリモート形式の講座となりますが、**2月20, 21, 22, 28日**のHS J主催オーガナイザー養成講座に数多い家庭訪問ボランティアの実績がある北見佳子さんを送ります。乞うご期待！！

奥富学童保育室

子どもから言われることが多いのですが、空気が澄んだ冬空に子どもも大人も富士山の話が多くなり、癒されています。「富士山はすごいね～登ってみたいなあ～」と言っている子どももいました。

奥富の子どもたちの中で誰か？きっと富士山山頂を制覇する子がいるでしょうね。期待しています！

秋から冬にかけての学童の行事は10月さつま芋掘り、11月ハロウィーン、12月里芋掘りとクリスマス会を行いました。コロナ禍で縮小した行事となってしまいましたが、子どもたちは喜んでくれました。中には子どもからこっそりと「ありがとう」の手紙をもらったり、「楽しかった」と耳打ちをしてくれたりしました。感謝の気持ちをもっている奥富の子どもたちは最高です。

まだまだマスクが必要な時期は続きます。みんなで乗り切っていきたいと思っています。

新狭山小学童保育室

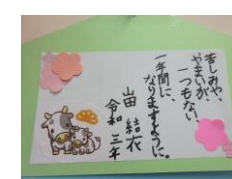
新年あけましておめでとうございます。

昨年はコロナ禍に振り回され、解雇されたり、時短や在宅ワークを要求されたり、保護者の皆様も大変だったと思います。

令和3年の保育が4日から始まりましたが、干支の丑や絵馬、凧を作り、一輪車に興じ、歓声を上げながらの鬼ごっこ等で遊ぶ子どもたち。コロナ禍になんかに負けないぞ！という元気いっぱいの子どもの笑顔を見ていると涙が出てきます。こんな日常が日常でなくなる日が待ち遠しいです。

また、新狭山小学童保育室は来年からの定員増に伴う増築が始まり、騒音等の不便をおかけしておりますが、子どもたちは元気に遊んでいます。今以上の大規模学童になりますので、密にならないか心配ですが、より多くの子どもたち

の安全な放課後を確保できればと思います。本年もよろしく
お願いいたします。



柏原小第一学童保育室

“牛に引かれて善光寺参り”ことさら良い年になりますように。昨年末のクリスマス会は「コロナに負けず安全に楽しもう！」と子どもたちと相談しながら実施しました。子どもの出し物はスタンドマイクを握りながら絶唱したN君、「紅蓮華」の曲にのってダンスを披露した四年女子など。大人の出し物はピアノとヴァイオリンの合奏でした。クライマックスは公民館の職員が扮装したサントさん登場で、子どもたちがリクエストしたプレゼントがたくさん届き、楽しい会になりました。

新年を迎え、お正月遊び、節分、ひな祭り等を今の状況下で、どのような楽しみ方できるのか、子どもたちと一緒に考えながら計画したいと思っています。

3学期は新旧への期待と不安が交差する時期でもあります。個々の課題に向き合い、後押しをしながら成長を見守っていきたくと思っています。

子どもたちに今年の抱負を書いてもらう⇒



御狩場小学童保育室

あけましておめでとうございます。
今年もどうぞよろしく
お願いいたします。

昨年はコロナ禍の中、ほとんどの行事が中止になり、普段の活動も様々な制限の中でのものでした。

せめて、クリスマス会は思いっきり楽しみたいと思い、小学校の校長先生にお願いして体育館をお借りすることができました。前半と後半に分かれ、体育館では「サントを探せゲーム」「水ヨーヨー釣り」「スノードームづくり」を楽しみ、学童の部屋では毎年恒例のクリスマスケーキ作りをしてクラッカーを鳴らし、シャンメリーでお祝いしました。当日は、今年度初めて出席率100%でした。

年が明けてもコロナ感染の勢いは衰えませんが、子どもたちはこんなに我慢しているのに・・・

でも、新年早々「入曾囃子保存会」の方が獅子舞を披露してくださったので、きっと素晴らしい一年になるはずですよ。

